

## 「すべての原発を廃炉にしよう！」シリーズ19

# 「今こそ原発推進に舵を切れ」WEDGE9月号

## 『安全より経済』『人の命よりカネ儲け』のJR東海…その2

第二章では「火力発電の原料である石油は中東に9割依存している。燃料輸入は国の経常収支まで赤字に追い込んでいる。原発再稼働は国家としての喫緊の課題」と展開している。

しかし輸入した石油が全て火力発電に使われているのか？実際には工業（鉱業・石油化学）55.5%、自動車18%、その他8.6%で電力には17.9%である。（資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」2007年）

また2012年度の発電に使われた燃料を比較するとLNG42.5%・石炭27.6%・石油17.6%・水力8.4%・原子力1.7%・自然エネルギー1.6%となっている、つまりことさら「中東依存」を問題にしているが、石油は17.6%でしかない。

また米国でのシェールガス採掘により天然ガスは世界的に低落している。しかし日本が買っている天然ガスの価格は米国の9倍と言われている。仮に米国のシェールガスを輸入すると、輸入コストがかかっても1トンあたり10ドル程度になるといわれている。しかし、たとえ10ドルだとしても、現状の18ドルよりはかなり安い。またアジアの国は長期契約して安くまとめ買いしている。（中国8ドル・韓国14ドル）日本は電力会社やガス会社が個別に買い付けるため、まとめ買いが成立せず割高なガスを買っている。もっとも電力会社は「総括原価方式」（利益＝必要経費×3%）のためコスト意識が乏しく「燃料費にかかる経費は電気代金値上げに転嫁すれば良い」という意識が根底にある。

## 「原発は安い」「燃料費のみ」の政府の嘘！

さらに2010年の政府資料を使い、原子力8.9円・石炭9.5円・LNG火力10.7円・石油火力22.1円・風力9.9～19.7円・太陽光30.7円と原子力のコストが一番低いとしている。さらに「原発の燃料費であるウランは原油にく

らべて価格が低位安定している」と原発の優位性を語る。

しかしそこには放射性廃棄物の処理・管理費用（日本には最終処分場はない？しかも何十万年にもおよぶ管理は可能か？）、送電ロス（大都会の電力を過疎地から送る）、原発自治体への交付金、廃炉費用（通常でも30年～40年）、揚水発電のコスト（原発は起動するのに2日かかるため、夜間でも動かす。その電力で夜間に水を高所に汲み上げ、昼間に水を落とす水力発電）、地震・津波などへの安全化対策、福島原発事故収束費用・損害賠償費用、巨額の不正資金（自治体寄付金・大学寄付金・宣伝広告費・政治家献金）などが含まれていない。

つまり通常の原子力発電でもコストは10.25円となる。これに福島事故を含めれば「50円」「100円」と、とんでもなく高くなることは明らかだ。

この政府資料はウラン燃料の購入時単価しか入れてなく、燃料使用後の莫大な処理費用や管理費用をあえて含めなくて、単価を安くする詐欺まがいのデータでしかない。

またイギリスやフランスで再処理されたMOX燃料（プルトニウムと劣化ウランの混合焼結燃料）は、通常のウラン燃料より4.7倍高く、輸入や貯蔵コストなどの費用も発生するがここには含まれていない。

「またウラン燃料は石油に比べて埋蔵量がある」と言うが、石油に比べて数分の1、石炭に比べ100分の1しかない。

## **JR東海に「人類の未来に対する責任」を語る資格はない！**

そしてスペースシャトル・チャレンジャー号事故を例にして「福島第一原発事故で原発を止めれば技術体系を丸ごと捨ててしまう。人類の未来に対する責任から逃げることになる」と言う。

「原発の技術体系」とは何か？福島第一原発事故が収束される展望があるのか？東電のやってることは「その場しのぎ」のことを何とかこなしているにしか過ぎない。かたや安倍首相は「汚染水は完全にブロックされている。コントロール下にある」などと海外向けに、すぐバレるような嘘をついている。

どこに「原発の技術体系」なるものが存在しているのか？原発や放射能を人類はコントロールできない。放射性廃棄物はどこに保管するのか？何十万年先の生物たちに責任を取れるのか？ましてやひとたび事故が起きれば人が生存できない不毛の大地が広がるだけなのだ。さらに福島第一原発では、汚染水が海に流れ、メルトダウンした核燃料は格納容器を突き破り地下水に接触している可能性もある。また再度の地震・津波で使用済燃料プールが崩壊すれば関東圏は放射能で汚染される。JR東海に「人類の未来に対する責任」を語る資格があるのか？